



議会

によどがわ

だより

2010.1
第18号

”分列行進“

一月十七日（日）、冬土用入り 立春までの18日間は厳しい寒さが続く。今年も厳寒の中、245人の消防団員が勢ぞろい初午行事が行われた（吾川中グラウンド）



中学校の統合を急げ…5P

地元食材を増やせ（フードプラン）…7P

公文書は職員が配達を…10P

受章… 受賞…12P

(株)ソニア調査特別委員会の報告…19P

12
月
定
例
会



“万歳三唱”は西森副議長の役目。町民の安全と国家の安泰を願い、万歳の声がこだました。

高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 若藤敏久 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 資佐川印刷所

一 般 質 問

21年第9回定例会は、12月9日、10日に開かれ、報告1件、議案4件を原案どおり可決、意見書2件、陳情1件を採択し閉会した。

任期最後の議会です

—あなたに代わって聞きました—



旧町村平等に予算措置を

答 議会の理解があれば

問

福原克彦

地域振興基金合計は、合併時10億7836万円。20年度決算で8億2659万円。21年度は9358万円を取り崩す予算だ。合併して4年半、町長も全議員推薦のもと無投票当選され、22年1月執行の議員選挙は全区制となる。基金内訳は頭の片隅に置き、各地域の基金を統一し、旧町村にこだわらない22年度当初予算の考えは、中学生模擬議会の質問にあった、「旧3町村の結びつきはまだ弱い、町民の意識を高める方法」の一つではと思うが。

答

町長

補助事業や有利な起債等を導入し取り組んでいるが、地域振興基金は21年度末残高が約7億12

00万円になる予定で、年々減少している。旧町村の目的達成の時点で町民の理解と議会の意見を聞き、そうすべきとの意見があれば、今後検討したい。



11月26日、町内3校の中学生が参加して、模擬議会が開かれました（本会議場）

過疎法

必要性をどう訴えるか

答

機会あるごとに

問

福原

22年3月末に期限切れとなるこの法は、民主党の政権公約に位置付けとなる記載がなく、新政権は現行法の延長を、3年程度と表明。

自民党は独自の新過疎法案を表明。どちらも中身の議論がなく、分らないがどうとらえるか。

過疎法は本町にとって命綱であるが必要性をどう訴えるか。

答

副町長

過疎法の維持、延長は間違いないと思われ、与野党の国会の動きは、歓迎すべきで、過疎地域の不安が払拭される。人材や水、食料などを

議長一ロメモ！

旧三町村の壁

議員選挙の日が近づいてきた。

十二月中旬までは無風状態だったが、一転して激しい選挙戦となった。

今回から町全体が一つの選挙区となり、大量の上積み票が必要な私は隣の吾川地区へ挨拶に行った。

「頑張りや応援するけの」「合併して良かった、今度はおまんの名前が書ける」など励ましの声もいた中、「仁淀で頼みや、吾川に来んといて」「上仁淀橋にバリケードを造る、下には来なや」などの声も多く、地域により住民自身に地元意識の強さがあることを痛感した。

前町長に対し、旧三町村の壁を取り除くよう質問したことを反省し、執行部、議会、住民が一丸とならなければ、(株)ソニアをはじめ仁淀川町の課題は解決できないと思った。

若藤 敏久

学力・体力

本町の状況は

答

頑張っている

都市部に供給し、自然環境や景観を保全しながら防災や水源涵養など多面的機能を果たしてきた事実を理解してもらい過疎地域の重要性を機会あるごと積極的に訴える。

問

福原

県が発表した中間報告で、全国平均を大きく下回っている現状を約9割の人が問題と感じ、主な原因は県や市町村教育委員会の施策にあると考えている。

3月と9月の教育長行政報告では、小中学校ともほとんど全国・県平均を上回っている。本町の

答

教育長

子どもに置き換えるとズレを感じるが、世論調査に対する見解は。

学力・学習状況調査は、高知市の結果がそのまま数値で上がっている。本町も昨年度は小学校が苦しい点数だったが、今年度はまずまずで、中学校は全国以上に頑張った状況が出ている。



バレーボール 池中、吾中で合同練習 (1月15日 吾中体育館)



町のアイデンティティーは

答 今後、明確に打ち出したい

日本の原風景をとどめ、自然、そして技や知恵を伝承して今日に至っている。これらは他に誇ることができ素晴らしいものである。

今後、地域のアイデンティティー、仁淀川町らしさを内外に明確に打ち出し、資源の活用にも努め、魅力と活力のあるまちづくりを目指したい。

問

藤原陽三

11月18日、「高知新聞」に全国町村会、高知県町村会連名で意見広告が載った。政権が代り事業仕分け等、厳しい精査のなかで危機に直面している地方の姿を訴え、アイデンティティーの重要性を述べている。

町長の考えは。

答 町長

脆弱化が進む地方自治体には、国の動向が自治体運営、町民の生活に大きく影響するだけに、注視している。信頼と協働により、魅力と活力あるまちづくりを実現するためにもアイデンティティーの確立が重要である。本町は水源の里として



農業で町の再生を（大板）

※アイデンティティー
主体性。本人であること。身元証明

福祉センター

池川の施設を利用しては

答 検討中

問

岡田良成

本町は過疎高齢化が進んでおり、将来の状況を把握し、センターの場所を考え財政的に無駄を省くべきである。

大崎のNTT跡地に2億6000万円で（杭打ち3000万）建設予定であるが、池川に立派な耐震の建物があるので、活用すべきではないか。

社会福祉協議会への、過去3年間の運営補助金はいくらか。

答 町長

指摘を受け、副町長、総務課長、企画課長、保健福祉課長、社会福祉協議会を交え検討している。住民の福祉を守るために統一した事務所を建てるべきとの意見もある。

答

総務課長

社会福祉協議会の過去3年間の運営事業費補助金は1億2778万円。

平成20年度公債費データ（会計別）

（単位：万円、％）

	元 金	利 子	元金合計	年度末残高	利率（平均）
一般会計	11億2,671	1億2,647	12億5,318	80億1,385	2.00
直診会計	495	57	552	3,878	1.64
簡水会計	9,316	1,745	1億1,061	5億9,506	3.06
農集会計	4,716	800	5,516	4億8,051	1.59
全 体	12億7,198	1億5,249	14億2,447	91億2,820	2.03

※利率は、各会計の借入件数により算出。



池川保健福祉センター（土居）

問
岡 田

財政的に裕福な町づくりを推進すべきで、公債費データを見ると、厳しい財政状況であり、無駄をすべきではない。建設予定の総合福祉センターは、池川にある保健センターを改造し使用すべきである。

答
町 長

総合福祉センターは、検討中であり、活用できる施設はできるだけ活用したいが、必要最小限のものが要るときは考える。高齢化状況を見ても将来、人口減は避けて通れない。財政の健全化を常に頭に置いている。

中学統合

統合を急げ

答

藤崎前町長は消極的だつ

問
岡 田

9月議会で中学校統合の質問をした際、教育長の答弁は、学力向上のためにも統合に向け、検討議論を深めるとあったが、その後の状況は。

答
教育長

小・中学校とも今後、小規模になっていくことに、さまざまな課題がある。多くの情報を得るため、年始にかけ、生徒、保護者、教職員、地域に、学校全体の評価に関するアンケートを実施する予定である。教育委員会と町長側との意見交換の場を持ちたい。

問
岡 田

子どもの教育、クラブ活動のために町外に出る世帯もあり、親の気持ちで統合を検討すべきでは。

答
教育長

前町長は、統合は考えないという考えから現在に至っているが、現在ではますます厳しくなっている。

おり、学校統合、再編は考えていかなければならない。中学生模擬議会での質問で、子どもたちの関心も高い。意見の集約をしていきたい。

	池 川 中			仁 淀 中		
	男	女	計	男	女	計
中3	12	6	18	9	14	23
中2	6	13	19	11	5	16
中1	14	13	27	12	12	24
小 6	9	8	17	15	13	28
小5	16	5	21	12	12	24
小4	15	8	23	17	7	24
小3	7	15	22	11	12	23
小2	5	12	17	15	10	25
小1	13	8	21	13	9	22
計	97	88	185	115	94	209

21年9月議会で、西森（常）議員が提案した、仁淀、池川2校案が実現した場合。（22年1月10日現在）